



今城 克啓 議員

新たなごみ処理施設の今後について

問 現在の環境センターの場所で新たなごみ処理施設を整備する方向か。

答 現在の環境センターの場所で整備するといった選択の余地はありません。

問 令和2年2月10日の提言書提出以来、一貫して、現在の高島市環境センターの場所での施設整備を早急に進めていただきたいと市に求め続けている。

答 現在の市の方針について、これまで市が計画されていた場所での建設は行わずに、現在の環境センターの場所での新たなごみ処理施設を整備する方向に舵を切ったという理解でよろしいか。

環境部長 環境センター所在の地元区の要望に応えるべく、公募により現在地以外での用地選

定を進めてきた経緯や、防災上の観点から花折断層の存在、さらには、焼却施設の運営上必要となります水量が不足する等の課題があり、現在地で整備するといった選択の余地はありません。

問 地震のリスクや水害リスクおよび水量などの技術的な課題については、それぞれの分野の専門家を含めた検討委員会で、市民の目に見えるように議論したうえで、判断することなどができていないのではないか。

答 環境部長 今後の対応等につきましては、今しばらく時間をいただいて、改めて検討させていただくということになっています。

問 現在の環境センターのリスクイクルプラザなど、使えるものは使い続けて、環境に対する意識を普及啓発するという使命があるのではないか。

答 環境部長 建設コストやランニングのための動線を考えての全体整備といった考えで、個々には考えていないというのが現状です。

問 新たな場所に建設する場合、現在の環境センターの解体撤去および原状復帰費用は莫大な費用がかかると考えるが検討しているか。

答 市長 山積している課題を現在一つずつ調整し、解決に向けて議論、検討を重ねているところで、もうしばらくはお時間をいただきたいと繰り返し申し上げます。



現在の環境センターのプラザ棟